

反天皇制運動

Alert 0

号
[通巻 382 号]
2016年
6月7日発行

第X期・反天皇制運動連絡会

神田川	—	8	集会情報	—	8
集会の真相	—	7	野次馬日誌	—	7
第X期反天皇制運動連絡会への呼びかけ	—	2			
	—				

とうとう、X期をスタートさせる時間に入ってしまった。平成天皇制のXデー状況とXデーと闘う。これがこの期の軸である。「反天連」は昭和天皇Xデー及びXデー状況に抗するという運動課題をかけて結成された運動体である。30年以上の運動の持続があり、まさか天皇Xデー闘争を、もう一回体験するなどということはまったくの想定外であった（特にこんな病体のままで）。

この間、私たちの「読書会」のテキストに、私の『マスコミじかけの天皇制』（1990年・インパクト出版会）が使われた。それは新聞・週刊誌・TV・雑誌に洪水のごとくあふれた「皇室情報」の中を私自身が独力で泳ぎきった記録である。読みなおして気がついた。

私たちは「代替わり」のスタートの時点で、平成天皇制（アキヒトーミチコ天皇制）は、ずいぶん遅れてやってきた象徴天皇制の、かなりスマートな（平和憲法にマッチしたという意味での）完成形態であることに、それなりに自覺的であった。

いいかえれば、今、天皇主義右翼安倍政権に抗する様々なテーマの政治的・社会運動の中に、アベの暴走に不快感を表明しているアキヒト天皇一族の「護憲＝平和発言」への期待を口にする人が少なぬといふ、とんでもなく倒錯した事態がうまれる必然性。これを、いち早く予感しながら、反天皇制運動を持続してきたのである。〈護憲・平和イデオロギー〉こそが象徴天皇制のナショナリズム（国民的一体感づくり）の中心軸なのだ。「即位」の時点の「護憲」発言に、期待をにじませた、戦後民主主義派知識人の登場と、それとの論戦。この記録に、その点は象徴されていよう。そう、私たちは〈象徴天皇制デモクラシー〉の内在的批判を課題として突きだし、個人の自己決定権を奪還する相互主体的な活動としての〈民主主義〉を〈象徴天皇制デモクラシー〉に対置して闘い続けてきたのだ。そして、戦後憲法との関係でいえば、国家（天皇）のごとく戦争（軍隊）を前提にする「平和」などではなく、9条の理念通りの〈絶対平和主義〉理念の積極性を、この点はまともな9条護憲派より、ずいぶん遅れて発見し、右翼の公然たる暴力の日常化の中で〈非暴力直接行動〉をしゃにむにつみあけてきたのである。中心にかけ続けた政治テーマは〈天皇制の植民地支配・戦争責任・戦後責任を問い合わせ続ける〉であった。この長い長い自分たちの象徴天皇制批判の、〈運動体験〉を、次のXデー状況に抗する運動の中で、あらためてはじめてXデーを経験する世代とともに、どう〈思想化＝運動化〉するか。これに自覺的であり続けたい。（天野恵一）



50 円

●定期購読をお願いします（送料共年間4000円）

●郵便振替 00140-4-131988 落合ボックス

東京都千代田区神田淡路町 1-21-7 静和ビル 2A 淡路町事務所 気付 落合ボックス

TEL/FAX 03-3254-5460 URL <http://hanten-2.blogspot.jp/> mail: hanten@ten-no.net

反天皇制運動連絡会 第X期への呼びかけ（二〇一六年六月）

第Ⅱ期以降、三年ごとにいつたん解散・再結成という区切りを設けながら、IX期まで活動を重ねてきました私たち反天連は、いま第X期にむけてスタートしようとしている。反天連は、ヒロヒト「Xデー」状況との闘い、大衆的政治闘争としての反天皇制運動を目指して、一九八四年に結成された。当時、中曾根首相が打ち出した「戦後政治の総決算」というスローガンや、「不沈空母発言」「靖国公式参拝」などに象徴されるような日米同盟の強化、新自由主義的・新国家主義的な政治志向のもとで、民衆統合支配の装置としての天皇制の「浮上」が、運動圏においても強く意識され始めていた。その後の反天皇制運動は、私たちもその一翼を担いつつ、八九年のヒロヒト「Xデー」と新天皇の「即位・大嘗祭」反対運動の全国化・大衆化として、大きな広がりを作り出していくつた。それからすでに三〇年以上もの時間が過ぎた。非自民連立政権の成立や右派勢力の巻き返し、政権交代などのジグザグを経て、いまや、解釈改憲によつて集団的自衛権行使を解禁し、違憲の安保法制を行可決し、緊急事態条項をひとつずつ突破口として明文改憲をすすめようとする安倍政権によつて、八〇年代以来の政治方向が完成させられようとしている。これにたいして、現在、国会前やさまざまな場所で、安倍政権の強権政治に対する人びとの声、立憲主義の蹂躪を許さない運動の大きなうねりが続いている。しかし、そこに「反天皇制」ということばが占める余地は、ほとんど無に等しいかのようだ。そこには、

私たち自身の主体的力量といった問題以上に、「Xデー」以後の天皇制、すなわち「アキヒト・ミチコ天皇制」というものの性格が反映しているといわなければならないだろう。

戦後天皇制は、一貫して非政治的、平和主義的なものであるというイメージでとらえられてきた。それは、天皇の「人格贊美」を日々繰り返すマスコミによって支えられ、総じて現実政治に関わらない、戦後民主主義体制に適合的な支配のシステムとして合意してきた。とりわけアキヒト・ミチコは、ヒロヒト時代に十分果しえなかつた「開かれた皇室」、戦争責任からクリーンであり、「皇室外交」にも積極的な「国際化時代の天皇制」として登場し、さらには海外を含めた戦争被害者の「慰靈」、原発事故や自然災害の被災地を精力的に回ることによって、「祈り」と「癒し」の担い手としての顔をも前面に出していくつた。「宗教的」とさえいえる「無私の祈り」に励んで見せることが、人びとの間に、天皇の権威を再組織していることを無視することはできない。そういう意味において、私たちは、アキヒト・ミチコ天皇制は、象徴天皇制に期待される役割を果すことについた。成功しており、その「国民統合」のあり方は「象徴天皇制の完成形態」であるとさえ考へている。

私たちはまず第一に、国家の政治的なシステムと

して天皇制を考える。

三年前、第IX期の開始にあたつて私たちは、「国家の機構でありながら、それとは独立して超然と存在しているかのようにふるまう象徴天皇制は、そのふるまいにおいて、文化的・平和的な場面における民衆統合の装置であり続けるだろう。……それゆえに私たちは、運動の中においてさえ繰り返し登場する「リベラルな天皇への期待」なるものをも批判していかなければならない。そしてそれは、多くは八・一五、さらには三・一などに象徴される「追悼の政治」の場面において発動される天皇制の批判ともなるだろう。そして、第二次安倍政権の登場が「右翼的・神権主義的な天皇制の強化に繋がると考えるべきではない」と主張した（「第IX期への呼びかけ」二〇一三年三月）。

それより以前、民主党政権の時代にも私たちは、

むしろ「ソフト・イメージの（アキヒト・ミチコ）天皇制は……民主党政権の方にマッチしている。こ

ちらの方こそ、私たち反天皇制運動の正面の敵ともいえよう」とも主張していた（「第IV期への呼びかけ」二〇〇九年一二月）。戦後象徴天皇制は、アメリカの占領体制のもとに、サンフランシスコ体制＝日米安保体制を軸として作りだされた戦後日本の構造の一

ある安倍を、実は天皇も批判していると言いたいのかもしれないが、それは政治的に演出された天皇の「無垢性」に依拠しつつ、その権威を前提とする議論でしかない。

私たちはまず第一に、国家の政治的なシステムとして天皇制を考える。

三年前、第IX期の開始にあたつて私たちは、「国家の機構でありながら、それとは独立して超然と存在しているかのようにふるまう象徴天皇制は、そのふるまいにおいて、文化的・平和的な場面における民衆統合の装置であり続けるだろう。……それゆえに私たちは、運動の中においてさえ繰り返し登場する「リベラルな天皇への期待」なるものをも批判していくなければならない。そしてそれは、多くは八・一五、さらには三・一などに象徴される「追悼の政治」の場面において発動される天皇制の批判ともなるだろう。そして、第二次安倍政権の登場が「右翼的・神権主義的な天皇制の強化に繋がると考えるべきではない」と主張した（「第IX期への呼びかけ」二〇一三年三月）。

それより以前、民主党政権の時代にも私たちは、むしろ「ソフト・イメージの（アキヒト・ミチコ）天皇制は……民主党政権の方にマッチしている。こちらの方こそ、私たち反天皇制運動の正面の敵ともいえよう」とも主張していた（「第IV期への呼びかけ」二〇〇九年一二月）。戦後象徴天皇制は、アメリカの占領体制のもとに、サンフランシスコ体制＝日米安保体制を軸として作りだされた戦後日本の構造の一

【設立目標】

- ①予想される明仁天皇「X デー」および「X デー」状況との闘いを準備する。
- ②「全国戦没者追悼式」や「震災追悼式」をはじめとする、マス・メディアに支えられた国家による追悼儀礼、天皇出席の国体・植樹祭・海づくり大会などの天皇儀礼、「皇室外交」や「昭和」の賛美などと持続的に対決する大衆的な反天皇制運動をつくる。
- ③「天皇元首化」や「日の丸・君が代」を明記し、立憲主義を否定する国家主義的な改憲策動と対決する。
- ④原発推進、「日米同盟」の強化、「恒常的派兵」国家化などに向かう日本政府の動きと対決し、各地の反原発・反安保・反基地運動と「連帯」しうる反天皇制運動をつくる。
- ⑤天皇制国家の植民地支配責任、戦争・戦後責任、「領土ナショナリズム」や差別・排外主義を撃つ闘い、治安弾圧、「日の丸・君が代」強制、オリエンピックをはじめとする排除と統合のナショナルイベント、天皇制の安定継承のための皇室典範「改正」、教育の国家による統制などに抗する運動などとの豊かなネットワークづくりと、他のテーマの運動との有機的連携を作りだす運動のメディアの強化。
- ⑥80 年代からの反天皇制運動の歴史的な体験を思想的に対象化する作業の持続。

【運営の申し合わせ】

- ①基本方針は、定例（週 1 回が原則）の事務局会議で決め、会員全体に提起する。事務局会議は月 1 回は拡大事務局会議（会員に開かれた会議）とする。
- ②事務局メンバーの推薦と本人の自発的意志があれば、誰でも事務局員あるいは「事務局協力者」（コンスタントに事務局会議には出られなくても「協力」の意志のあるメンバー）になれる。ただし、政治党派のメンバーは遠慮していただく。
- ③会員とは、主旨に賛同し、会費を納めた者である。「ニュース購読会員」（年間 4000 円）とより積極的な「協力会員」（年間 7000 円）の二種類がある。
- ④ニュースは原則として月 1 回発行で、購読料は年間 4000 円とする。
- ⑤会は、大衆運動の原則にしたがって運営する。
- ⑥期間はとりあえず 3 年間とする。

部にはかならない。「国民統合の象徴」として戦後憲法に制度化された象徴天皇制にとって、戦後憲法体制に適合的な民主党政治のほうが、天皇制の方をも含めて変えていこうとしている自民党の改憲よりも、当然にも戦後憲法下の天皇像を積極的に演じてきたアキヒト・ミチコにとって「意に沿う」ものであつただろうという判断もあつた。民主党の凋落と自民党の再登場によつて、天皇制の権威化が予想されるが、本質的には政権政党の「政治利用の対象」としての天皇という役割は変わらないであろう。「天皇元首化」を掲げた自民党の改憲草案においても、天皇は依然として「象徴」であるように、けつして「統治権の総覧者」としての天皇制の復活を志向するものではあるえない。

象徴天皇の役割は、さまざまな国家的儀礼において、「国民統合の象徴」という役割を担うことであり、

国家の行為を権威づけ正統化し、「国民」の幻想的共同性を担保することである。天皇家や皇族の人間に対する無条件の絶対敬語と人格贊美は、そのまま統合された国民によって成り立つ国家の無条件の贊美にはかならない。それはまた、皇室の「私事」とされる「皇室祭祀」の祭主であることとも連動して、日本の文化・伝統の体現者ともみなされることになる。

私たちは、第 X 期を、「次」の「X デー」状況の開始を見すえつつ、このようなアキヒト・ミチコ天皇制の現段階をこちら側から「総括」し、国家・社会の再編にともなう天皇制の再編＝再定義の指向性をとらえ、その中から、天皇制の生み出す「現実」に対する批判と行動を持続していくべきだと考える。

私たちがなすべきことは、天皇制廃絶を一般的にスローガンとして語ることではありえないし、「国民

運動」における天皇批判の不在を嘆くことでもない。私たちの運動は、「慰靈」や「皇室外交」における戦争責任・植民地責任の隠ぺい、天皇の移動などにともなつて常に起る人権侵害や治安弾圧、「日の丸・君が代」強制、世襲の特権的身分制度にともなう差別、靖国問題や国家の宗教性、ナショナリズムと排外主義の問題など、天皇制に関わつて具体的に日々起きている事象との具体的な対決をおいてほかにない。それらは、反「X デー」闘争以来の闘いを通じて、私たちも含めた反天皇制運動がつかみ取つた「運動としての民主主義」に関わる課題であり、したがつてそれは、さまざまな運動とのつながりと相互の協力関係なしにはなしえない。

一人でも多くの方の参加、協力、支援をお願いします。

（反天連事務局）

一野次馬日記

5月1日～5月31日

【5月2日】

美智子◆皇居・御所の近くにあるクスギを網で囲んで設けた養蚕施設「野蚕室」で、「天蚕」と呼ばれる野生種のカイコの卵を枝につける「山つけ」の作業をする。

久子◆スウェーデンのカール16世グスタフ国王の70歳を祝う行事などに出席するためとして訪れていた同国から、羽田空港着の民間機で帰国。

【5月3日】

憲法◆自民党が党声明で「憲法改正の国民投票は、現実に実施できる状況にある。

憲法改正原案の検討、作成を目指す。憲法は、国民自らの手で、今の日本にふさわしいものとしなければならない。わが党の主張を訴え、国民と共に議論を進め

る。／民進党の岡田克也代表が談話で「今夏の参院選は日本政治の分岐点となる。安倍政権が勝利すれば、憲法9条を改正して集団的自衛権を制限なく行使可能とするのは確実だ。憲法の根幹である平和主義を守り抜くことを国民に改めて約束する。／生活の党の小沢一郎・共同代表が談話で「政権が目指すのは自衛隊の海外派兵で、平和主義を覆すものだ。そのための改憲は許されない。国民の合意があれば時代や実勢に合わせて改正すべきだ。」

旧日本兵遺骨◆岸田文雄外相が、ミャン

【5月4日】

眞子◆東京都千代田区のヒューマントラストシネマ有楽町を訪れ、当日公開のドキュメンタリー映画「サンマとカタール女川つながる人々」を鑑賞。

【5月5日】

マーの首都ネピドーでティン・チヨー大統領と会談し、日ミヤンマー関係の強化を巡り意見交換。

【5月6日】

日米関係◆米大統領選で共和党候補の指名獲得を確実にした実業家トランプが、大統領に就任すれば、日米安全保障条約に基づき米軍が日本防衛のために支出している国防費の全額負担を日本に要求する考えを表明。

【5月7日】

明仁、美智子◆宮内庁が、明仁、美智子が全国植樹祭の式典臨席などのためとして、6月4～6日の日程で長野県を訪問すると発表。

【5月8日】

「慰安婦」問題◆自民党の高村正彦・副総裁と中国の李源潮・国家副主席が5日に北京で会談した際、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界記憶遺産に「慰安婦」問題の関連資料を登録しようとする中國の動きについて、日中両政府で協議する必要があるとの認識で一致していたと、同行筋が明らかに。

【5月9日】

天皇、皇族◆明仁、美智子の「公務」について、宮内庁が新たな見直し策を発表。天皇で行政機関の長らと面会する機会を減らし、一部を徳仁、雅子が担うもので、山本信一郎次長「ご年齢にふさわしい公務のあり方を検討し、両陛下の了解も得ている」。

【5月10日】

明仁◆「春の叙勲」で、皇居・宮殿「松の間」で行われた大綬章の「親授式」に出席し、秋篠宮・紀子◆日本とイタリアの国交樹立150周年に当たり、祝賀式典などに臨席するため、羽田空港発の民間機でイタリアに出掛ける。

【5月11日】

明仁、美智子◆東京都台東区にある東京国立博物館の平成館を訪れ、特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」を鑑賞。

【5月12日】

明仁、美智子◆東京都港区のグランドハイアット東京を訪れ、テニス大会「軽井沢国際テニストーナメント」が100年目を迎えたことを祝う記念式典に出席。

【5月13日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月14日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月15日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月16日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月17日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月18日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月19日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月20日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月21日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月22日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月23日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月24日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月25日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月26日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月27日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月28日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月29日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月30日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月31日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月32日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月33日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月34日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月35日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月36日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月37日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月38日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月39日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月40日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月41日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月42日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月43日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月44日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月45日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月46日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月47日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月48日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月49日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月50日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月51日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月52日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月53日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月54日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月55日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月56日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月57日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月58日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月59日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月60日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月61日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月62日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月63日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月64日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月65日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月66日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月67日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月68日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月69日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月70日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月71日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月72日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月73日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月74日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月75日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月76日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月77日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月78日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月79日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月80日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月81日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月82日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月83日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月84日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月85日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月86日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月87日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月88日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月89日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月90日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月91日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月92日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月93日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月94日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月95日】

徳仁◆東京都千代田区の一橋大一橋講堂を訪れ、日本の登山隊によるヒマラヤのマナスル初登頂から60周年を祝うイベントに出席。

【5月96日】

徳仁◆東京都千代田区の

5 ● 反天皇制運動 Alert

秋篠宮・紀子◆日本とイタリアの国交樹立150年を祝うとして、ローマにある世界遺産の円形闘技場遺跡コロッセオで行われた「光のイベント」に出席。バチカンを訪れ、ローマ法王フランシスコを表敬。有田焼のつぼなどをプレゼント。ヘイトスピーチ◆特定の人種や民族への差別をあおるヘイトスピーチ（憎悪表現）を根絶するためとして、国や自治体に教育や啓発活動の充実を求める与党提出法案が、参院法務委員会で全会一致で可決。明仁、美智子◆東京都港区にあるサントリーホールを訪れ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によるコンサートの一部を鑑賞。明仁、秋篠宮◆宮内庁が、明仁がハゼの分類をテーマに、秋篠宮ら共同研究者とともに執筆した論文が、遺伝子学に関するオランダの国際学術雑誌「ジーネ(GENE)」の2月1日号に掲載されたと発表。明仁◆皇居・御所でクウェートのジャビル首相と会見。宮内庁によると、明仁が「日本は世界でも自然災害が多い国の一つですが、クウェートはいかがですか」と質問し、ジャビル首相が「災害はほとんどありませんが暑さの問題があります」と答えると、明仁は「気候変動の影響はありますか」と尋ねたと報道。彬子◆宮内庁が、故寛仁の長女彬子が、た絵師伊藤若冲の生誕300年を記念した特別展「若冲展」を鑑賞。

客員研究員を務める学習院大国际研究教員の業務のため、20～26日の日程でスペインと英国を訪問すると発表。東宮大夫◆宮内庁東宮職のトップの東宮大夫に、元宮内庁式部官長の小田野展丈が就任することが閣議で決まる。

【5月15日】

【5月16日】

オバマ広島訪問◆ライス米大統領補佐官（国家安全保障問題担当）が米CNNテレビのインタビューで、オバマ大統領の広島訪問について「興味深いことに日本は謝罪を求めていないし、私たちはいかなる状況でも謝罪しない」と述べたと報道。

【5月17日】

秋篠宮、紀子◆イタリアのローマ日本人学校（水井廉雄校長）で、同校や地元の公立小学校の児童、生徒らと交流。帰国 の途に就く。

三笠宮◆昭和天皇の弟で、前年12月に100歳を迎えた三笠宮が急性肺炎のため、東京都中央区の聖路加国際病院に入院。

明仁、美智子◆熊本県を19日に訪れることが決まり、閣議で報告される。

美智子◆東京都新宿区の東京オペラシティコンサートホールを訪れ、アルゼンチン出身で世界的ピアニストのマルタ・アルゲリッチが奏てるベートーベンの曲を鑑賞。

秋篠宮、紀子◆日本とイタリアの国交樹立150周年を記念する行事などに出席するためとして訪れていたイタリアから、羽田空港着の民間機で帰国。

東京五輪招致◆2020年東京五輪の招致委員会が国際陸連前会長の息子と関係があるとされるシンガポールの会社と2億円以上のコンサルタント契約を結び、不正が疑われている問題で、馳浩・文部科学相が閣議後の記者会見で、開催都市決定の投票権を持つ国際オリンピック委員会委員が当時「東京電力福島第1原発事故の）汚染水の問題に懸念を持つていて、日本政府がどうしようとしているのか、回答を求めていたという情報があつた」と述べ、ロビー活動には「より核心に触れる情報が必要だつた」として、海外コンサルタントによる情報収集が不可欠だつたと強調。

【5月18日】

明仁、美智子◆皇居・御所で、訪日したガーナのマハマ大統領夫妻と会見。これまで国家元首との会見後には宮殿で昼食会が催されていたが、新たな「公務」の軽減策により、今回から会見のみとなつたと報道。

美智子◆東京都文京区のお茶の水女子大を訪れ、世界的に活躍する女性のリーダー育成を目的とした講演会「スペシャルタナーレクチャ― 21世紀の女性の生き方」の記念レセプションに出席。

【5月19日】

明仁、美智子◆熊本県を中心相次いだ地震の被災者を見舞うためとして、日帰りで同県を訪れ、被害が大きかつた南阿蘇村と益城町の避難所を訪問。羽田発の特別機で熊本県入り。熊本空港で蒲島郁夫知事から被災状況の説明を受け、宮内

序を通じて支援金を手渡した後、自衛隊へ移動。村立南阿蘇中学校と町立益城中央小学校を訪問。西原村の村長から話を聞く。

徳仁、雅子◆東京・元赤坂の東宮御所で、ブータンのツエリン・ヤンドン・ワンチュク前国王妃と現国王の妹であるデチエン・ヤンゾン・ワンチュクと会見。

在韓被爆者◆広島や長崎で被爆した韓国人への支援などを定めた被爆者支援法案が韓国国会で可決され、同法が成立。被爆者対策を担う委員会を設立し、被爆者を登録し実態調査や医療支援、追悼事業を行うと定めており、医療支援は日本の被爆者健康手帳を持ち医療費を受給している人は除外されると報道。

オバマ広島訪問◆ローズ米大統領副補佐官が、オバマ大統領が広島を訪問する際、核兵器を使用した唯一の国として、核廃絶に向けた「道義的責任」があると言及し、原爆投下により「広島、長崎で失われた多くの命」を追悼すると明らかに。／韓国の被爆者でつくる「韓国原爆被害者協会」が、オバマ米大統領の27日の広島訪問を前に、原爆投下への謝罪と賠償を求めるオバマ大統領宛ての手紙の内容を明らかに。日本に徴用された多くの朝鮮半島出身者が犠牲になったとして日本政府の謝罪も求める内容と報道。／日本原水爆被害者団体協議会(被団協)の田中熙巳・事務局長が東京都内の日本記者クラブで記者会見し「被害が今も続いている被爆者の話を聞き、核廃絶へのステップを踏んでほしい」。

サミット警備◆防衛省制服組トップの河野克俊・統合幕僚長が記者会見で、伊勢

のためには欠席。

【5月22日】

志摩サミットで自衛隊が行う警戒監視などの活動に関し「世界的にテロの脅威が高まっている中で行われる。不測の事態に対応できるよう万全の準備を整えたい」。自衛隊はF15戦闘機や空中警戒管制機、護衛艦などを会場周辺の海空域に展開させ、警戒監視に当たるほか、「テロ対処」の専門部隊も待機し、各国要人のヘリコプター輸送なども担うと報道。／

警視庁が、主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に伴う東京都内の警戒警備のため、20日からサミットが終了する27日まで、最大約1万9千人の警察官を動員すると発表。民間企業と協力し、ハイテク資機材も警備に活用すると報道。

【5月23日】

明仁、美智子◆皇居・御所で、ブータンのツエリン・ヤンドン・ワンチユク前國王妃と、娘で現国王の妹デチエン・ヤンソン・ワンチユクと会見。

愛子◆宮内庁の小田野展丈・東宮大夫が記者会見し、学習院女子中等科3年の愛子が当月、修学旅行で広島市中区の平和記念公園を初めて訪れたと明らかに。彬子◆故寛仁の長女彬子が、客員研究員を務める学習院大・国際研究教育機構の業

務のため、スペインと英国に出掛ける。

【5月24日】

明仁、美智子◆皇居・御所で、主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に出席する秋篠宮、紀子、眞子、悠仁◆悠仁が、通つてお茶の水女子大付属小（東京都文京区）の運動会に出場。会場の校庭で紀子と姉の眞子が観戦。秋篠宮は「公務」

御養蚕所で、蚕に餌の桑の葉を与える「給桑」と呼ばれる作業をする。

【5月27日】

美智子◆東京都中央区の東京銀座画廊・

美術館を訪れ、手足や体の不自由な人々

として初めて被爆地の広島を27日に訪問するのを前に、共同通信が広島・長崎で被爆した115人に実施した面接方式のアンケートで、原爆投下の是非に踏み込み謝罪することを78・3%が「求めない」と回答し、「求める」とした人は15・7%

【5月25日】

三笠宮◆宮内庁の山本信一郎次長が記者会見で、急性肺炎のために16日から入院している昭和天皇の弟の三笠宮について

【5月26日】

明仁◆皇居内の生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月27日】

明仁◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月28日】

伊勢志摩サミット◆サミットが閉幕。

【5月29日】

改憲◆共同通信社が28、29両日に実施した全国電話世論調査によると、安倍晋三首相の下での憲法「改正」に反対は54・

9%、賛成は35・0%だったと報道。

【5月30日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月31日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月32日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月33日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月34日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月35日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月36日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月37日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月38日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月39日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月40日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月41日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月42日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月43日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月44日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月45日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月46日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月47日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月48日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月49日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月50日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月51日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月52日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月53日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月54日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月55日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月56日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月57日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月58日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月59日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月60日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月61日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月62日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月63日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月64日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月65日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月66日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月67日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月68日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月69日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月70日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月71日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月72日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月73日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月74日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月75日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月76日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月77日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月78日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月79日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月80日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月81日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月82日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月83日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月84日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月85日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月86日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月87日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月88日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月89日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月90日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月91日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月92日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月93日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月94日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月95日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月96日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月97日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月98日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月99日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月100日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月101日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月102日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月103日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月104日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月105日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月106日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月107日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月108日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月109日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月110日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月111日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月112日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月113日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月114日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月115日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月116日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月117日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月118日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月119日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月120日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月121日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月122日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月123日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月124日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月125日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月126日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月127日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月128日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月129日】

美智子◆皇居内に於ける生物学研究所脇にある水田で、恒例の田植えをする。

【5月130日】

長した蚕を移し、繭作りを促す「上蔟」の作業をする。

千鳥ヶ淵墓苑拝礼式◆第2次大戦中に海

外などで死去した身元不明の戦没者を慰

め仁、美智子◆東京都小金井市を訪れ、

明仁が終戦間もない46年5月から約3年

者によるコンサート「ヴィオラスペー

ス」を鑑賞。

戦没者墓苑で、第2次大戦中に海外など

で死去した身元不明の戦没者を慰靈する厚生労働省主催の拝礼式が、東京

都千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開かれる。当年は新たに遺骨2337柱を納

骨、これまでに納められた遺骨と合わせると36万4896柱になると報道。

【5月31日】



講演会「心は支配されたくない」報告

先の五月二七日に安倍靖国參拝違憲訴訟の会・東京主催の講演会「心は支配されたくない」が開かれた。最初の講師、小林綠さんの近年の研究テーマは、女性の作曲家を掘り起こすこと。一八から一九世紀はクラシックの有名な大作曲家を輩出した時代であるが、教科書に載る名前は男性ばかり。女性の作曲家はいなかつたのではなく、「女性であるという理由だけで歴史の表舞台に出ることがなかつた。ロネイが「音楽史はどれほどの嘘と省略で成り立つてゐるか」と語つた通りで、それら男性社会の中に埋もれてしまつた作品を掘り起こすと、素晴らしい作品と出会うという。常識と言わてているものにも、数限りない嘘があり、かつての戦時下の時代も、音楽は戦争遂行の道具であり、作曲家も作詞家も当然のごとく国策に利用された。信時潔（『海ゆかば』の作者）作曲・北原白秋作詞の

カンタータ『海道東征』は、そんな音楽の代表的なもの。神武天皇が海道を切り分け進出するのを歌つたもので、皇紀二六〇年奉祝のために國の依頼によって作られた壮大なカンタータ。満州進出にも歌われたいわくつきの曲。その曲が長年の封印を解かれるごとく昨年に演奏され始めた。産経新聞社主催によつて大阪で演奏され、東京でも東京芸術大学で演奏された。大勢の音楽家や音大生も過去の経緯を知らずこの曲を歓迎している。歌は命令されない。命令されば歌えない。幸せでなければ歌えない。歴史

学校は自分で創るという自主的な機運が生まれていく。転任した学校は、性の風紀が乱れた地域。人間の尊さを教えるため従軍慰安婦の歴史と性の商品化のこと授業した。以後、校長や教育委員会の授業した。以後、校長や教育委員会の根津攻撃は激化したが、沈黙せず闘い続けると、生徒たちは問題の本質を理解するようになつていつた。「なぜ都教委は根津先生にこんなことをするのか?」と問い合わせでは戦争中と同じです」と行動していく。

もう一人の講師は根津公子さん。元家庭科中学教諭、君が代不起立職務命令違反処分を数限りなく受けながら戦つた。教員となろうとした原点は、朝鮮半島、中国侵略の歴史を知り、戦争に行つた父の子として戦争責任を自分も背負つていること、このことを子供たちに伝えて國

●東アジア反日武装戦線と私たちの来た道、行く道 虹の彼方へ
●原発労働者は要求する!春闘集会
●伊勢志摩サミット反対!
5月22日（日）

5月15日（日）来んなG7 つくばから
5月19日（木）●総掛けり行動
5月21日（土）●国の暴力を許さない!れ
じすたんす大行動

5月13日（金）●連続講座・ドイツの戦
5月14日（土）●科学技術と核・軍事体制
を問う
5月29日（日）●第29回立川反基地駅伝



（安倍靖国參拝違憲訴訟・東京 原告事務局／星出卓也）

6月11日（土）●シンボジウム 戦後レジームと憲法平和主義
13時開場／武藤一羊・花崎皋平・李泳采・



